



オリンピックメモリアルスペース内覧会

●陳情第9号 子ども・障がい

者等の医療費窓口無料化を求める意見書提出についての陳情書陳情第8号、第9号は同一趣旨のため、一括議題として審議。医療費を窓口で支払わなくて済む窓口無料化を求める意見書を県に提出してください。

問 長野県が現物給付をしない理由は。

答 【住民課長】 国庫負担が減る事と、医療機関の窓口が煩雑になる事ではないかと思われる。

【討論】

○窓口無料化は理想的であり、他の県もこの制度を取り入れているので県に働きかけていく事も大切だと思ふ。長野県も検討されているので趣旨採択が妥当かと思ふ。

○他県に比べて長野県は遅れている。少子化対策も考慮し、生活弱者対策は重視すべきであるので採択
▽委員多数の賛成により趣旨採択にすべきものと決定。

産業経済委員長報告

●議案第31号 財産の譲渡について

村が所有する商標権の「白馬マイスター」及び「花三昧」を、白馬村観光局に無償譲渡するもの。

商標権の件数は。

答 商標権は現在2件のみ。今後、白馬イメージキャラクターの商標登録をする予定。

▽委員全員の賛成により原案のとおり可決すべきものと決定。

●議案第35号 白馬オリンピック記念館条例を廃止する条例について

オリンピック記念館は閉館となるため、条例を廃止するもの。

▽委員全員の賛成により原案とおおり可決すべきものと決定。

●議案第36号 平成26年度白馬村一般会計補正予算(第2号)

農政課関係

奈良井有効利用整備事業の代替地希望者にかかる事務手数料27万5千円、用地購入費に25万2千円の増額。県の土地改良補完事業費増額に伴う村負担

金の増額として12万5千円を増額。

問 奈良井の用地購入状況は。

答 一部繰越部分を除き、全て用地購入は終了。全体では約9ヘクタールを取得。

建設課関係

克雪住宅普及促進事業は、特別豪雪地帯の市町村が実施する克雪事業へ県が補助するもので、屋根雪を融雪する方法が補助対象となるもので、1軒分60万円を増額。

問 克雪住宅普及事業の対象方法は。

答 融雪以外は対象にならない。

観光課関係

親海湿原木道回収事業が、県地域発元気づくり支援金の対象事業に内定されたことに伴う財源補正。

北アルプス3市村観光連絡会負担金として150万円、北アルプス山麓フェスティバル実行委員会負担金50万円を増額。

日・英・中・韓・露語の5か国語での外国人向けチラシ作成事業が、県元気づくり支援金対象事業になったため、111万7千円の増額。

イメージキャラクターの山歩きの写真の着ぐるみ制作費(約70万円)と、ピンバッジ5000個の制作費に合計127万2千円の増額。

問 北アルプス山麓フェスティバルでの事業計画は。

答 情報発信は実行委員会、企画販売は各市町村がおこなうもので、観光局が担当する。親子向けのツアーなどを企画している。

問 親海湿原木道の維持管理は。

答 維持補修などは佐野坂観光協会に原材料を支給して修理をお願いしている。

問 起債をやめて一般財源に振り替えた理由は。

答 元気づくり支援金が採択になるか分からないので、支援金が付いたら起債を止めるという当初からの考えであった。

問 県の支援金を観光予算計上している部分が多くあるが、必要な事業ならば当初から計上していくべきでは。

答 できるならば、当初から計上することも大事であるとは思っている。

▽委員多数の賛成により原案のとおり可決すべきものと決定。